

2. e-Learning 科目の科目学修到達目標並びに課題(5月31日〆切)

臨床栄養学各論Ⅱ

No	テーマ	学修到達目標	内容	課題
第1講	リポたんぱくと脂質異常症の分類	<ul style="list-style-type: none"> ・リポたんぱくの分類を説明できる。 ・脂質異常症を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リポたんぱくの分類 ・脂質異常症の定義 ・脂質異常症の分類 ・脂質異常症の診断基準 ・動脈硬化と脂質異常症との関係 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.脂質異常症 2.脂質異常症診断基準（採血条件含む） 3.脂質異常症の分類（I型～V型）とそれぞれの特徴 4.アテローム硬化症が起こるメカニズム 5.HDL-コレステロールが善玉である理由
第2講	脂質異常症の食事療法	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質異常症の食事療法のポイントを説明できる。 ・脂質異常症で用いられる薬剤を挙げられる。 ・リスク区分別脂質管理目標値を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・脂質異常症の食事療法 ・脂質異常症患者が摂取すると良い栄養素とその理由 ・脂質異常症の薬物療法 ・動脈硬化性疾患予防ガイドライン ・リスク区分別脂質管理目標値 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.脂質異常症における食事療法 2. 多価不飽和脂肪酸、ビタミンC, E やポリフェノール類、食物繊維を摂るとよい理由とそれらを多く含む食品 3.脂質異常症の薬物療法 4.リスク区分別脂質管理目標値
第3講	脂質異常症の症例演習とまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・演習症例の問題点を抽出し、食事療法を立案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・演習症例の解説 	<p>以下について説明しなさい。</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験の過去問について、誤答を正文化できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中鎖脂肪酸の活用 ・国家試験 	<ol style="list-style-type: none"> 1.合併症の危険因子を改善する食事 2.中鎖脂肪酸を活用する理由
第4講	血圧上昇のしくみ 高血圧症の原因	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧が上昇するしくみを説明できる。 ・高血圧の原因を説明できる。 ・高血圧症の分類ができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・血圧上昇のしくみ ・RAA系（腎臓との関係） ・高血圧の原因と分類 	以下について説明しなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 1.収縮期血圧、拡張期血圧 2.高血圧の分類 3.高血圧の原因 4.RAA系
第5講	二次性高血圧の原因 高血圧症の合併症	<ul style="list-style-type: none"> ・二次性高血圧の原因を説明できる ・重症化した場合の高血圧症の症状を説明できる。 ・高血圧症の合併症を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・二次性高血圧の原因 ・高血圧症の症状 ・高血圧症の合併症 	以下について説明しなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 二次性高血圧の原因になる主な疾患と高血圧との関係 2. 高血圧症が重症化した場合の症状 3. 高血圧の合併症とその理由 4.GLUT4の働き 5.高血糖の結果起こること
第6講	高血圧症の予後と薬物療法	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧症の予後を説明できる。 ・高血圧症の薬物療法のうち、食事療法との相互作用がある薬剤を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予後影響因子 ・脳心血管病リスク階層化 ・高血圧症の薬物療法 	以下について説明しなさい。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 脳心血管病リスク階層化 2.糖尿病の典型症状 3. カルシウム拮抗薬、ACE-I, ARBの作用機序と特徴（注意点含む）
第7講	高血圧症の食事療法	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧治療ガイドラインに基づいた生活習慣の修正を説明で 	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧治療ガイドライン 	以下について説明しなさい。

		<p>きる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・減塩の必要性と工夫を説明できる。 ・降圧に有効な食品とその成分および作用を説明できる。 ・外食の工夫を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DASH 食 ・減塩の定義と工夫 ・降圧に有効な食品とその成分および作用 ・外食、中食、加工食品の食塩含有量と選び方 	<ol style="list-style-type: none"> 1.収縮期血圧を低下させるための生活習慣の修正法 2.高血圧治療ガイドラインによる高血圧治療のための生活習慣の修正項目 3.減塩の必要性と工夫 4.降圧に有効な食品とその成分および作用 5.外食の選び方
第8講	高血圧のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧症に関する過去問の誤答を正文にできる。 ・演習症例の問題点を抽出し、問題を主観的情報と客観的情報に分類できる。 ・演習症例の必要栄養量を提案できる。 ・演習症例に対し栄養食事指導のプランを立案できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国家試験過去問の解説 ・症例演習 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.演習症例の高血圧の分類 2.演習症例の必要栄養量 3.演習症例の食事プラン
第9講	腎臓のしくみと働き 糸球体腎炎	<ul style="list-style-type: none"> ・腎臓のしくみと働き、血圧との関係を説明できる。 ・腎機能が低下した場合の障害を説明できる。 ・糸球体腎炎の原因、分類および治療目的を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・腎臓のしくみと働き ・腎臓と血圧の関係 ・腎機能障害 ・糸球体腎炎 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.腎臓の働き 2.腎臓から分泌されるホルモンおよび酵素とその作用 3.腎機能障害 4.腎性貧血 5.基底膜、メサンギウム、IgA 6.糸球体腎炎の原因
第10講	ネフローゼ症候群	<ul style="list-style-type: none"> ・ネフローゼ症候群の分類と症状を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネフローゼ症候群の定義と症状 	<p>以下について説明しなさい。</p>

	腎不全	<ul style="list-style-type: none"> ・ネフローゼ症候群の診断基準を説明できる。 ・ネフローゼ症候群の合併症を説明できる。 ・ネフローゼ症候群の食事療法を説明できる。 ・腎不全の分類を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネフローゼ症候群の分類と重症度 ・ネフローゼ症候群の診断基準 ・ネフローゼ症候群で浮腫を合併するしくみ ・ネフローゼ症候群の食事療法 ・腎不全とその分類、症状 	<ol style="list-style-type: none"> 1.ネフローゼ症候群およびその分類 2.ネフローゼ症候群の診断基準，合併症とそのメカニズム 3.ネフローゼ症候群の栄養基準と食事療法のポイント 4.腎不全の定義および分類 5.腎不全の原因 6.腎不全の症状
第11講	腎不全の栄養評価	<ul style="list-style-type: none"> ・腎不全の栄養評価の必要性と評価項目を説明できる。 ・腎不全患者の栄養教育を説明できる。 ・腎不全患者の食事療法のポイントを説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・腎不全の栄養評価の方法と指標 ・二次性副甲状腺機能亢進症 ・腎不全の栄養教育のポイント ・腎不全の食事療法の必要性和ポイント 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.腎不全の栄養アセスメント 2.二次性副甲状腺機能亢進症のメカニズム 3.腎不全の栄養教育 4.腎不全の食事療法の必要性和その工夫（低たんぱく食、アミノ酸スコア含む）
第12講	慢性腎臓病とその治療	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性腎臓病とその重症度分類を説明できる。 ・透析療法の長所と短所を説明できる。 ・慢性腎臓病の栄養アセスメントと栄養ケア（透析間体重増加を含む）を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慢性腎臓病の定義と原因、症状 ・慢性腎臓病の重症度分類 ・慢性腎臓病の治療方法 ・透析療法 ・慢性腎臓病の栄養アセスメントと栄養ケア 	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.慢性腎臓病とその原因 2.慢性腎臓病の重症度分類 3.透析療法の調書と短所 4.慢性腎臓病の栄養アセスメント（推定食塩摂取量、推定たんぱく質

			・透析間体重増加	摂取量、ドライウェイトと透析間体重増加)
第 13 講	慢性腎臓病の食事療法	<ul style="list-style-type: none"> 慢性腎臓病の食事療法基準を説明できる。 慢性腎臓病患者の栄養教育内容を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 慢性腎臓病の食事療法基準 慢性腎臓病患者の栄養教育 	<p>中間テスト実施</p> <p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 慢性腎臓病の食事基準（図表が良い） CKD ステージ 3b 以降で低たんぱく食かつエネルギー確保が必要な理由と工夫
第 14 講	慢性腎臓病の食事療法 糖尿病腎症の病態と食事療法	<ul style="list-style-type: none"> 慢性腎臓病で制限が必要な栄養成分を説明できる。 糖尿病から糖尿病腎症になるしくみを説明できる。 糖尿病腎症の病期分類を説明できる。 糖尿病腎症の治療のポイントを説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 慢性腎臓病で制限が必要な栄養成分 糖尿病腎症のメカニズムと病期分類 糖尿病腎症の治療 	<p>以下の課題取り組みなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> カリウムやリンを制限する理由とその方法 糖尿病から糖尿病腎症になるメカニズム 糖尿病腎症の病期分類（表） CKD 重症度分類と糖尿病腎症病期分類の関係（表） 糖尿病腎症の治療ポイント CKD と糖尿病腎症の食事療法基準（表）
第 15 講	症例演習	<ul style="list-style-type: none"> 演習症例の入院時の問題点を抽出、主観的情報、客観的情報に分類できる。 演習症例の必要栄養量を提案できる。 	・演習症例の解説	<p>以下について説明しなさい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 演習症例の入院時の問題点 2.1 の問題点を主観的情報、客観的

		・演習症例の栄養食事指導のプランを立案できる。		情報に分ける 3.演習症例の必要栄養量 4.演習症例の栄養食事指導のプランを立案
--	--	-------------------------	--	--